

標 題 : Tissue factor expression is decreased in monocytes obtained from blood during Mediterranean or high carbohydrate diets  
地中海食事または高炭水化物食事中に血液から得られた単核白血球で組織因子の発現は低下する

---

著 者 : M. D. B-Herrera, et al. (スペイン Reina Sofia 大学病院)

---

掲 載 誌 : Nutr. Metab. Cardiovasc. Dis. 14: 128-132 (2004)

---

要 旨 :

背 景 : 地中海食事および高炭水化物食事は、脂質低下作用の結果としてアテローム性動脈硬化の予防で有力な役割を演じる。しかし食事は、循環血中の単核白血球で組織因子を調節するなどの別な経路で、予防作用を有する。

方法と結果 : 41名の被験者が3食事期間のランダムクロスオーバー研究に参加した：飽和脂肪強化食事(SFA)、低脂肪高炭水化物食事(CHO)、地中海食事。総コレステロール、トリグリセリド、LDL およびHDL コレステロールを各食事期間の終りに測定し、血液サンプルから分離した循環性単核白血球の組織因子発現も測定した。

総コレステロール、LDL、HDL コレステロールおよび組織因子発現は、地中海食事および高炭水化物食事後に、飽和脂肪食事後よりも低かった、そしてLDL コレステロール値と単核白血球の組織因子発現との間に正の相関があった。

結 論 : 高炭水化物食事および地中海食事は、循環性単核白血球で組織因子の発現を低下させる。

---